

■ チャドクガ大発生！！

最近増えてきたチャドクガ皮膚炎が今年は大発生の模様です。草刈りや庭木を手入れした後に、両腕の内側を中心に首などの露出部に痒みを伴う赤いブツブツが多数出現します。

原因となるチャドクガは、体長10－15mmの、黄色く小さい蛾で、地球温暖化によって生活範囲を拡大して本州最北端の青森県にもやってきたものと思われます。チャドクガは、軒先や公園のトイレの天井などで越冬し、春先にツバキやサザンカなどの葉に卵を産み付けます。5月初めに孵化した幼虫は針のような毛(毒針毛)を多量に持っています。6月中ごろから7月中に羽化しますが、抜け殻に残っていた毒針毛が風で周辺に飛び散ります。この毒針毛に触れたり、汗ばんだ皮膚に付着してアレルギーを起こして、ブツブツになります。

庭木をいじったりした後に両腕や露出部に猛烈に痒くて赤いブツブツが出現したら、できるだけ早く皮膚科を受診して下さい。

平成 22 年 7 月 分 原 稿

はらクリニック 原 徹